

平成 20 年度宮前区区民会議  
公園・地域づくり部会(第 8 回)

平成 21 年 3 月 5 日(木) 18 時～20 時  
宮前区役所第 2 会議室

次 第

開 会

1 議 事

( 1 ) 区民会議フォーラムについて

( 2 ) 具体的な課題解決策について

～公園の魅力のアピールする方法～

2 その他

閉 会

配布資料

- 資料 1 平成 20 年度宮前区区民会議フォーラム分科会(公園・地域づくり)  
の進め方について(案)
- 資料 2 議論ペーパー
- 資料 3 公園・地域づくり部会 具体的な課題解決策 検討資料
- 別 紙 平成 20 年度宮前区民会議 公園・地域づくり部会(第 7 回)確認事項
- 参 考 公園・地域づくりアンケートまとめ(平成 21 年 3 月 5 日現在)

## 平成 20 年度宮前区民会議 公園・地域づくり部会（第 7 回）確認事項

日 時 平成 21 年 1 月 20 日（火） 午後 6 時から 8 時

会 場 宮前区役所 4 階第 4 会議室

参加者 田邊部会長、久保委員、佐藤委員、福本委員、目代委員、吉岡委員

永野委員長、川西副委員長（オブザーバー）

田邊企画課長、中山主査、成沢職員（以上、事務局）

福田研究員（コンサルタント）

## 確認事項

## 1. コミュニティのきっかけづくり

- ・コミュニティのきっかけづくりについて、意見交換をし、スタンプラリー、水遊び、体操など、さまざまな提案が出ました。
- ・提案の実現には、公園緑地管理運営協議会の人たちの意識を変え、既存の組織や一般の人たちが一緒に進めることが重要です。そのためには、宮前区では公園をまちづくり一つのテーマとすることを広くアピールする必要があります。
- ・大きなイベントも重要ですが、日常的に催しを実施することで、公園緑地管理運営協議会の担い手やコーディネーターへと結びつく仕掛けができるとよいでしょう。
- ・みやまえぼーたろーなどを活用し情報発信をすることで、公園に対する意識を高めるとともに、区民会議の活動内容を知ってもらうことが重要です。

## 2. 区民会議フォーラムについて

- ・公園・地域づくり部会では、地域活動事例の紹介として、「ポレポレ」に参加をお願いすることになりました。
- ・区民会議フォーラム分科会では、事例紹介を踏まえて、あなたはどんなことを公園でやりたいか。どんなことがあればあなたの公園デビューができそうか。みんながそれぞれしたいことをできる公園になるためにはどうしたらいいと思うか。といったことについて意見交換をすることになりました。
- ・区民会議フォーラム以外にも、区内で開催されるイベント等を活用し、区民の公園に対する意見を収集したいという意見がありました。

平成 20 年度宮前区区民会議フォーラム分科会(公園・地域づくり)の進め方について(案)

1 分科会のテーマ

「公園でやりたいこと・公園デビューに必要なこと・理想の公園となるのに必要なこと」などを語り合う

2 場所

大会議室を半分に分けて使用

3 時間

14:35～15:35(1時間)

4 具体的な進行方法

(1) 役割分担

- ・ 司会・進行：田邊部会長
- ・ 進行サポート：福田研究員(CSK)

(2) 進め方

- ・ 長机を3つ用いてグループ分けする(1テーブル6人まで)
- ・ グループには部会メンバーが1人以上入る。
- ・ グループごとに自己紹介(地域と名前だけ)(5分)
- ・ 司会がお題を出し、お題ごとにグループ内で区民会議委員が中心となって各自がポストイットに書いて模造紙に貼っていく(福田研究員が巡回しながらサポート)(30分)。最後にグループ内で話し合ってもらいグループごとに発表する(15分)。

【お題】

- ・ 公園でしたいこと(10分)
- ・ 今の公園が抱える課題(10分)
- ・ その課題の解決策(10分)

2番目と3番目は対応させながら、模造紙にポストイットを貼っていき、みんなで、これでいいか、もっと追加はないか、協議(15分)

- ・ 最後に分科会で出た意見をまとめる(福田研究員)(10分)
- ・ 全体会での発表は部会長の仕切りのもと、グループごとに発表する。

以上は30人程度の参加を想定したケースであり、これより大幅に増減する場合には臨機応変に手法を変更する必要がある。

目指すべき方向性

公園を地域コミュニティの場として活用していく

全体会での意見など

- ・公園がコミュニティの拠点になることで、公園に愛着が生まれ、管理が行き届く。
- ・コミュニティの場としての公園には、コーディネーターの存在が必要不可欠だ。
- ・宮前区の公園は7区でも多い方なので、これらの公園がいきいきとした場になれば、区民の宝になる。
- ・子育てが終わった世代は公園に行かなくなりがちなので、楽しそうな企画があれば通りがかりでも参加できるのではないかと

公園・地域に関する現状

- ◆地域コミュニティなどに関する現状と取組  
(公園を絡めた解決策を視野に入れて…)
- 第1期区民会議では、審議課題である高齢者支援や、子育て支援、地域防災などを効果的に行うには、顔の見える関係づくり(地域コミュニティ)が重要であると確認された。
- ◆公園そのものに関する現状と取組
- 区内には190の公園緑地がある。  
うち、街区公園：170 近隣公園：6 その他：14
- 公園緑地・街路樹に関する苦情が増している  
H12：714件→H18：1,065件
- 地域の公園は地域が主体となって管理するのが、市の基本方針となっている。宮前区では129箇所を地域による維持管理活動等が行われている。  
うち、公園緑地管理運営協議会：51  
公園緑地愛護会：78
- レクリエーション、憩いの場に加え、緑地、防災拠点など公園には多様な機能がある。
- 夏祭りや盆踊り等地域のイベント会場、ラジオ体操、健康体操の会場などとして使用されている。
- 一部の公園で、施設の老朽化や管理が十分でないケースが見られる。
- 誰でも使える「オープン」な場であるが、その利用方法は、立地や世代によって利害が対立する場合がある。
- ゴミの不法投棄、犬や猫の糞など、一部に、マナーの悪い利用者がいる。

理想とする公園像

- ◆望ましい施設  
トイレ、ベンチ、看板、時計、砂場などがあげられたが、地域のニーズや実情によって異なる
- ◆維持管理・運営のあり方  
地域の多様な世代が、できる範囲で無理なく主体的に維持管理に関わっている  
公園利用者自らが、自主的に公園の維持管理、ルールづくり、催し物の企画運営に関わることができる
- ◆地域での使われ方(コミュニティ面)  
普段から子どもからお年寄りまで、多世代の人が自由に利用しており、顔見知りの関係ができている  
地域のお祭りやイベント会場としても使用され、地域の交流が図られている

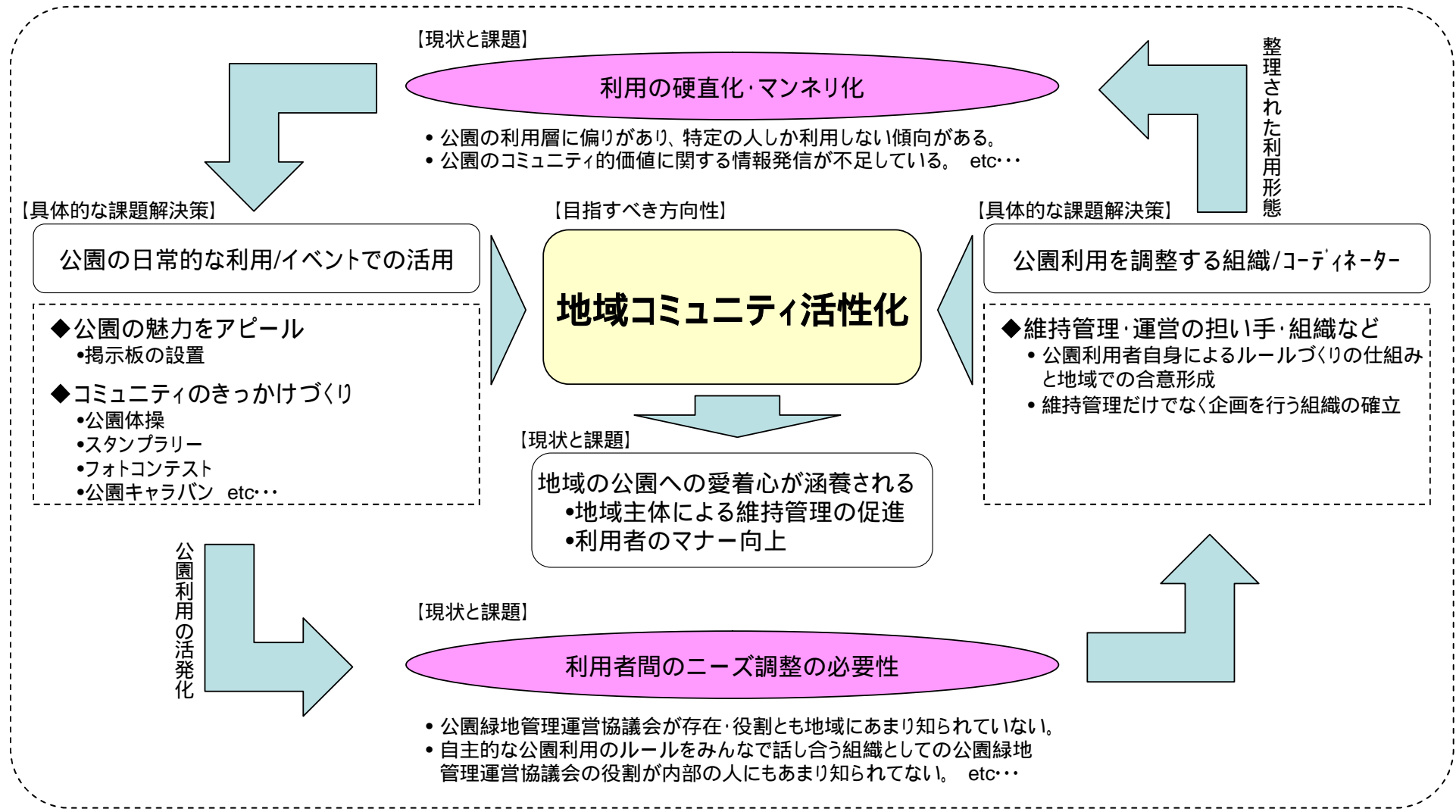
解決すべき課題

- ◆維持管理について  
活動に関わる人が少ない。参加者の固定化・高齢化が見られる。  
公園緑地管理運営協議会が存在・役割とも地域にあまり知られていない。  
自主的な公園利用のルールをみんなで話し合う組織としての公園緑地管理運営協議会の役割が内財の人にもあまり知られてない。
- ◆公園利用について  
公園の利用層に偏りがあり、特定の人しか利用しない傾向がある。  
公園のコミュニティ的価値に関する情報発信が不足している。  
利用者のマナーが良くない(ごみ・たばこ・ペットなど)

具体的な課題解決策(議論中)

- ◆公園の魅力をアピール  
公園内への掲示板の設置による情報発信  
公園からのまちづくりの必要性のアピール
- ◆コミュニティのきっかけづくり  
公園に目を向けてもらうためのイベントの実施(例)スタンプラリー、体操、写真コンテストなど  
日常的に公園を利用できる仕掛けづくり(例)プレイリアカー、公園キャラバンなど
- ◆維持管理・運営の担い手・組織など  
公園利用者自身によるルールづくりの仕組みと地域での合意形成  
維持管理だけでなく企画を行う組織の確立

# 公園・地域づくり部会 具体的な課題解決策 検討資料



## 公園・地域づくりアンケートまとめ（平成21年3月5日現在）

## 1 「まちづくり広場みやまえ」

実施日 平成21年2月21日（土） 10:00～16:00

回答者 8名

## 2 ホームページ（ 回答中「H」のマークが付いたもの）

回答者 1名

Q1 公園でこんなことをしたいな、出来たらいいなと思うことは何ですか？

- ・ストリートライブ。子ども向けの音楽をぜひ！ダンスや空手など、夢を運ぶような楽しいものをぜひ！（多摩区・54歳）
- ・たき火ができるといい：火があると年代かかわらず色々な人が集えると思う。「危ないもの」と子どもを遠ざけるのではなく、体験することで危なさを知って欲しい。（南平台・30歳代）
- ・落ち葉たき、バーベキューなど火気を用いた遊び。
- ・バーベキュー、子どもプール（有馬・30歳代）
- ・バーベキュー（有馬・5歳）
- ・子どもの野球、サッカーなども禁止すべきではない。大人のゴルフ練習なども、各自の責任のもとに行ってもよいはず。
- ・子どもが自由に遊べるように：なるべく禁止事項がなくなればいいな。ボール遊び禁止の後援多いですよ。（南平台・30歳代）
- ・思い切り水遊び：大人からすると水がもったいないけど、子どもにとっては思いきり水で遊ぶのは大事なこと。（南平台・30歳代）
- ・トイレ、ひみつ基地：反対意見。犯罪発生の可能性大（宮崎第三公園管理）
- ・木登り：落下の危険性。自己責任。親の考え方（宮崎第三公園管理）
- ・自由に摘める花畑、バーベキューや火おこしなど日常で体験できないことができれば楽しいと思う。（H 宮前区）
- ・花つみ：花壇の花つみについて？（宮崎第三公園管理）
- ・てつぼうのできる公園が少ないので、増やしてほしい。（宮崎・34歳）
- ・宮前区に1つでいいので、犬が自由に走れる場所（ドッグラン）を作って欲しい。（宮崎・34歳）
- ・シーソー、手洗い（宮前区・70歳代）
- ・公園でお泊り（テント）（有馬・5歳）

Q2 公園にこんなことや、こんなものがあったら良いなと思うものはありますか？

- ・掲示板。もっと子どものために公園集会所を作っていただきたい。（宮前区・70歳代）
- ・公園は子どもの公德心を養う場所でもあることを忘れないように。（宮崎第三公園管理）
- ・木製遊具：管理の問題等難しいだろうが、昔のような遊具はいろんな遊び方ができて面白かった。（南平台・30歳代）
- ・井戸：水遊びするのにわいている水だったら気にせず遊ばせられる。（南平台・30歳代）
- ・水遊び、時計、あずまや（宮崎大・34歳）

- ・プレーパーク：今も有馬ふるさと公園でやっているが、子どもが自由に遊べ、それを見守る大人がいる場。少しの危険がある場が子どもには必要だと思う。見ている大人がちゃんといれば。(南平台・30歳代)
- ・ツリーハウス、ゴミ箱、トイレ(きれいな)、小さい子向けと大きい子向けの遊具、砂ではなく土、駐車スペース(有馬・30歳代)
- ・全面の芝生
- ・プール(有馬・5歳)
- ・自然観察ができるビオトープなどがほしい。(H 宮前区)
- ・宮前区の公園は公衆トイレが少ないと思う。モラルが守られるか心配だが、きれいな自慢ができるトイレを目指すのも町おこしとしておもしろいのではないか。(H 宮前区)

Q3 どうすれば、さまざまな区民がみんなで仲良く・楽しく使える公園になると思いますか？

- ・スーパーからもらってきたダンボールで坂すべりしていたら、近所の住民から草が枯れる、公園が汚れるとクレームがあり、子どもがかわいそうでした。「どンドン遊べ」と言う住民がいい。(多摩区・54歳)
- ・使用する方が掃除用具を持参の上、遊んだ後きれいにする。(宮前区・70歳代)
- ・プレーリーダーのように親でも先生でもない大人、遊びを見守り、子どもの側に立って、同じ目線でいられる人がいると、子どももイキイキと遊べると思う。(南平台・30歳代)
- ・出張プレーパーク(南平台・30歳代)
- ・各年齢の子どもたちが安全に遊べるように、監視委員的な人がいると良い。小さい子が遊んでいる時に、小学生がすべり台で追いかっこをしていたりして、ぶつかっている時がある。(宮崎・34歳)
- ・火をたいて食べ物を作り、食べ、遊べるようなイベント(南平台・30歳代)
- ・危険だから、迷惑だからと何でも禁止してはいけない。自由に使う その上で責任を持つようにしなければ。(有馬・30歳代)
- ・近所の人たちが集うような仕掛けがあればいいのかな？(有馬・30歳代)
- ・自治会等に整備の権限を与え、助成金などを給付してみてもどうか？抜き打ち的に利用者のアンケートを分析し、正しく運営されているかリサーチし、まずければ従来通りのやり方、良ければ続ける方向にすれば、地域が活性化するのではないか？
- ・公園でお祭り(有馬・5歳)
- ・公園にみんなの声が聞けるポストをつくり、もっとみんなが利用できるような公園作りを目指す。また年令によって公園に求めるものが違うので、どう折り合うかが問題。異年令の人たちが交流出来る場や伝言板を作り、お互いの意見を尊重しながら公園を利用する工夫を見いだしていくようにする。(H 宮前区)